

■安曇野の朝がテーマ 市の観光ポスターがコンクールで入賞

市が作成した観光ポスター「朝が好きになる街 安曇野」(4枚組)が、3月に開催された公益社団法人日本観光振興協会主催の「第64回日本観光ポスターコンクール」で入賞作品に選ばれました。

また、全国各地から応募があった作品203点の中から第一次審査を通過した48作品を対象

に行われた一般を対象にしたオンライン投票でも1986票を獲得し、オンライン投票部門で3位を獲得しました。

昨年度、市民や来訪者から寄せられた「安曇野の朝が好き」といった意見を基に、「安曇野の朝」を表したロゴマークを作成。入賞したポスターは、このロゴマークと安曇野の四季折々

の朝の風景を組み合わせて、安曇野の魅力を伝えていきます。市では、市の宣伝用に無料でポスターを提供しています。希望する場合は問い合わせください。

■観光交流促進課ブランド推進担当
TEL 71・2053 FAX 72・1340



入賞したポスター

■上水道の水源がすべて地下水に 市水道事業第一次拡張事業が完了

市が平成24年度から進めてきた市水道事業第一次拡張事業が完了し、しゅん工式が4月26日、三郷温の三郷農村環境改善センターで行われました。当日は、市や市議会、地元関係者約90人が出席。宮澤市長はあいさつで「三郷地域へ安定した配水・給水体制が実現された」と話しました。



事業完了を祝うしゅん工式の様子

これまで三郷地域では黒沢川の表流水を主な水源としていたため、渇水や大雨などにより取水ができず、大きな課題となっていました。水源転換工事では、水源を安定的な地下水に切り替え、新設井戸からの取水と真々部配水系の余剰水を三郷小倉地域へポンプで送水し必要な水量を確保しました。また、耐震性

配管を用いたほか、地震による濁り水対策として真々部配水場にも過装置を設置しました。本管総延長約12・5キロメートルで、今回の事業完了により、市内の水源すべてが地下水となり、安定した水道水の供給が可能となりました。

全体事業費は約21億3千万円で、主な財源に県の補助や合併特例債などを活用しています。

■堀金支所・三郷公民館の大規模改修工事が完了

堀金支所と三郷公民館の大規模改修工事が完了し、しゅん工式が4月27日、両施設で行われました。式典には、市や市議会、区長など関係者が出席。宮澤市長はあいさつで「活気に満ちたまちづくりの拠点として利用してほしい」とあいさつしました。堀金支所は、1階に支所事務室と上下水道料金センター、2

階に図書館、3階に公民館を備えた複合施設として支所建物を改修したほか、別館会議室を調理実習棟に改修しました。総事業費は4億5千万円で主な財源は合併特例債です。

三郷公民館は、増築し、支所機能を移転すると共に隣接の三郷保健センターと併せて耐震改修工事を行いました。また、懸

案であった講堂の音響改修工事、エレベーターの設置などのバリアフリー化工事を行いました。総事業費は、5億8千万円で主な財源は合併特例債です。

旧三郷支所は解体後、跡地に図書館を核とした「三郷交流学習センター」を平成29年度中に建設する予定です。



オープニングセレモニーの様子(4月1日堀金支所・写真左)、しゅん工式の様子(4月27日三郷公民館・写真右)

■総務省消防庁から多機能車両貸与 市消防団に配備

総務省消防庁から市へ消防車両が3月に無償貸与されました。4月24日に三郷文化公園で行われた市消防団教育訓練では、幹部団員が配備された車両や資機材などの取り扱い訓練を受けました。

今回貸与された車両は「救助資機材・小型動力ポンプ搭載多機能車(四輪駆動6人乗り)で、



救助資機材の取り扱い講習を受ける市消防団員

小型動力ポンプのほかAEDや担架を備えています。また、今までの消防団車両には積載されていなかった、携帯用コンクリート破壊器具やエンジンカッターなどの救助資機材を積載しており、消防団の災害対応能力の向上が期待されます。

総務省消防庁の無償貸付車両は、消防団の資機材などの充実強化を目的として、全国に10

7台配備され、市には初めての貸与となります。

市では、市消防団での配備車両の運用状況や訓練成果を基に、今後更新する消防車両に必要な救助資機材などを選定して配備し、消防力の強化を図っていきます。